

個人会員の皆さまへ

ご応募お待ちしております。招待券プレゼント！

応募フォームは協会ホームページの会員専用ページ内にあります。
応募期限は毎月20日、厳正に抽選して当選者を決定します。(初回申込者を優先いたします。)

① ルーヴル美術館展
5組 ルネサンス

ダ・ヴィンチの傑作《美しきフェロニエール》日本初公開！



レオナルド・ダ・ヴィンチ《女性の肖像》、誤って付された別称
《美しきフェロニエール》1490-1497年頃 パリ、ルーヴル美術館
© Grand Palais Rmn (musée du Louvre) / Michel Urtado

15世紀から16世紀にかけてヨーロッパ各地で隆盛を極めたルネサンス美術。本展は、ルーヴル美術館の膨大なコレクションから選び抜かれた50点余りの作品を通して、この豊かで複雑な芸術動向の本質をなす、いくつかの特徴に光を当てる。

このたび初来日するレオナルド・ダ・ヴィンチの《女性の肖像》、通称《美しきフェロニエール》は、人間の個性への関心が高まった時代であるルネサンスの肖像芸術の傑作だ。レオナルドは、人物の外見の特徴をとらえるだけでなく、その内面に潜む複雑な感情を描き出すという難問に挑み続けた芸術家だった。

本展では、4つのテーマ-旅、技法の革新と洗練、古代へのまなざし、肖像芸術の隆盛-に基づいて、絵画から彫刻、版画、素描、工芸まで、多彩な作品を紹介する。

期 間 9月9日(水)～12月13日(日)
10:00～18:00 ※金・土曜日は20:00まで
※入場は閉館の30分前まで
休 館 日 火曜日、11/4(水)
※9/22(火・祝)、11/3(火・祝)、12/8(火)は開館
観 覧 料 一般2,400円、大学生1,400円、高校生1,000円
*中学生以下無料
*障害者手帳持参の方(付添の方1名含む)は入場無料

会 場 国立新美術館 企画展示室1E
東京都港区六本木7-22-2

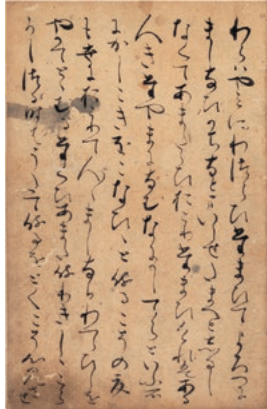
TEL.050-5541-8600 (ハローダイヤル)



#ルーヴル美術館#レオナルド・ダ・ヴィンチ#ルネサンス

② 特別展
5組 「源氏物語 王朝のかがやき」

京博、半世紀ぶりの大展覧会



左/源氏物語(定家本)若紫 鎌倉時代・13世紀(通期展示)
画像提供:八木書店
右/重要文化財 源氏物語画帖 若紫 土佐光吉・長次郎筆
安土桃山～江戸時代・17世紀 京都国立博物館蔵
(通期展示、帖替あり<この場面は前期展示>)[京都会場のみに出品]

世界最古の長編小説とも称される『源氏物語』。平安時代に紫式部によって著された本作は、平安の貴族文化を象徴するに留まらず、後世の絵画・工芸・芸能へと連なる日本文化の源泉となった。日本文学史を代表するこの王朝物語は、その普遍的な魅力ゆえに、今なお時代を超えて多くの人々に愛され続けている。

雅な宮廷を舞台として繰り広げられる、光源氏や個性豊かな女性たちが織りなす人間模様。本展では、源氏物語の場面やモチーフを表した絵画や工芸品を一堂に集めるとともに、後世に書き継がれた写本や注釈類、さらには物語から派生した芸能の広がりまでを包括的に紹介。わが国の文化に豊かな「かがやき」を与え続けた、名作の多角的な魅力を再発見する。

期 間 10月6日(火)～11月29日(日)
前期:10/6(火)～11/1(日)
後期:11/3(火・祝)～11/29(日)
9:00～17:30(金曜日は20時まで)
※入館は各閉館の30分前まで
休 館 日 月曜日、10/13(火)、11/24(火)
※10/12(月・祝)、11/23(月・祝)は開館
観 覧 料 一般2,200円、大学生1,200円、高校生700円
*中学生以下無料
*障がい者手帳提示者とその介護者1名は無料(要証明)

会 場 京都国立博物館 平成知新館
京都市東山区茶屋町527

TEL.075-525-2473



#源氏物語#「国宝」絵巻#紫式部#光源氏#藤原定家

会員IDやパスワードがご不明な場合は、日本建築協会総務課
(soumu@aaj.or.jp) までお問合せください。
招待券は当協会より郵送でお届けいたします。
当選発表は招待券の発送をもってかえさせていただきます。

information

③ 開館30周年記念 ジョルジュ・ルオー 5組 ーいつくしむまなざし、祈りの筆あと

開館30周年記念・没後100年 クロード・モネ展 併催



ジョルジュ・ルオー《聖書の風景》1956年頃
アサヒグループ大山崎山荘美術館蔵

敬虔なカトリック教徒だったジョルジュ・ルオー（1871-1958）は、近代化が進むフランスにおいて、同時代の芸術潮流とは距離を置いた独自の作品を生み出した。彼が暗い色調でとらえはじめた、曲芸師ら社会の片隅に生きる人々の険しい表情は、時を経るにつれやがて、穏やかで慈愛を湛えたまなざしをもつようになり、塗りがさねた絵具は厚みを増す。この表現や技法の変遷は、聖書に基づく主題を描いた作品にもみられ、画家が世俗の人々の姿のなかにキリストを見だし、両者をかさね合わせて描き出そうとしていたことを感じさせる。



【同時開催】

「開館30周年記念 没後100年
クロード・モネ展」

※「ジョルジュ・ルオー」展の
チケットで観覧可能

期 間 9月19日(土)～12月6日(日)

10:00～17:00

※入館は閉館の30分前まで

休 館 日 月曜日 ※祝日の場合は翌日の火曜日休館

9/22(火・祝)、11/24(火)、11/30(月)は開館

観 覧 料 一般1,500円、高大生700円、中学生以下無料

*障がい者手帳・ミライIDを有する方500円(付添者
1名まで無料)

会 場 アサヒグループ大山崎山荘美術館

京都府乙訓郡大山崎町銭原5-3

TEL.075-957-3123 (総合案内)



#ジョルジュ・ルオー#クロード・モネ#開館30周年記念

④ トーベとムーミン展 2組 ～とっておきのものを探しに～

「ムーミン」小説出版 80周年記念



トーベ・ヤンソン
「ムーミンたち
との自画像」
1952年
インク、紙
ムーミン
キャラクターズ
コレクション
© Moomin
Characters™

「ムーミン」の生みの親で、多方面に活躍したアーティスト、トーベ・ヤンソン（1914-2001）。本展では、初期の油彩画や第二次世界大戦前後の風刺画、「ムーミン」小説・コミックスの原画やスケッチ、愛用品など約 300 点を通して、トーベの創作の世界を振り返るとともに、彼女の人生が色濃く反映された「ムーミン」シリーズの魅力にも迫る。

本展は、「ムーミン」小説の出版80周年を記念して、フィンランドのヘルシンキ市立美術館（HAM）の協力のもと開催される。

見どころ 〈1〉アーティスト・トーベの創作の世界

見どころ 〈2〉ムーミンと仲間たちが大集合！

見どころ 〈3〉「ムーミン」の世界を体感できるような演出

期 間 10月10日(土)～12月13日(日)

9:30～17:30 ※金・土曜日は20:00まで

※入場は閉館の30分前まで

休 館 日 月曜日、10/13(火)、11/24(火)

※10/12(月・祝)、11/23(月・祝)は開館

観 覧 料 一般2,200円、大学生1,100円

*高校生以下無料

*大学生・高校生以下は学生証・生徒手帳を持参

*障がい者手帳等持参の方無料

*神戸市在住の65歳以上の方(要証明)一般料金の半額

会 場 神戸市立博物館

神戸市中央区京町24番地

TEL.078-391-0035



#トーベ・ヤンソン#ムーミン#80周年#ヘルシンキ市立美術館